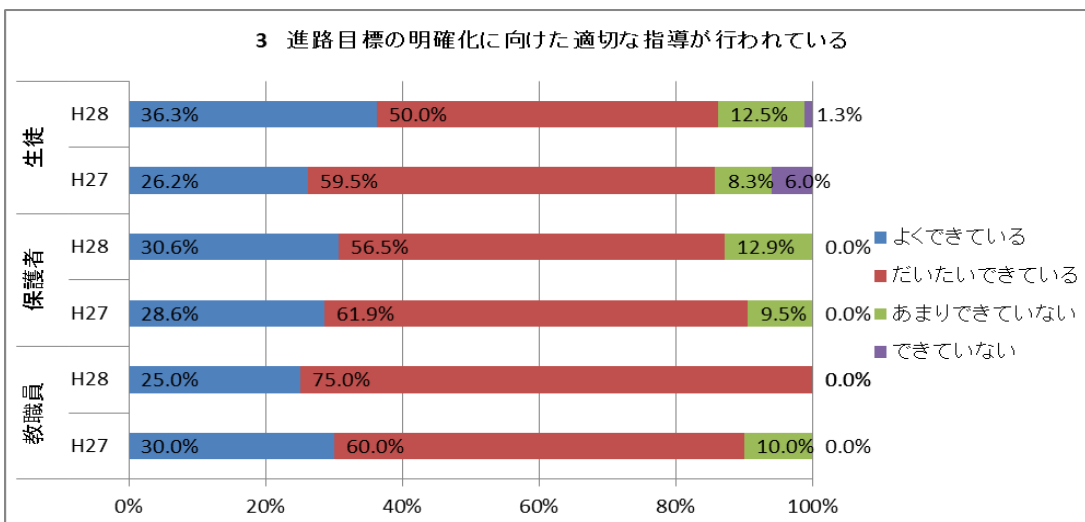
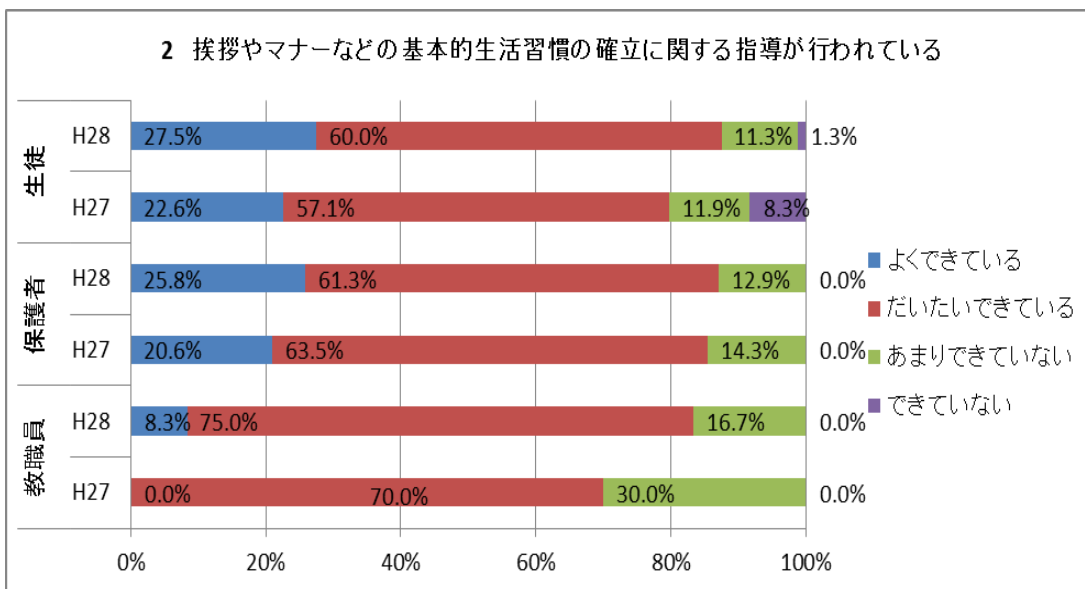
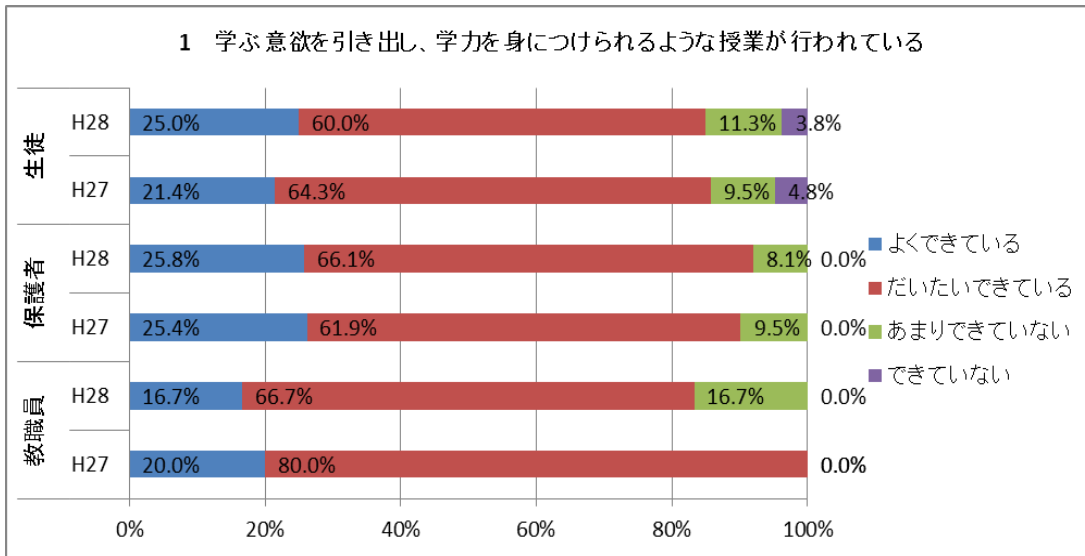
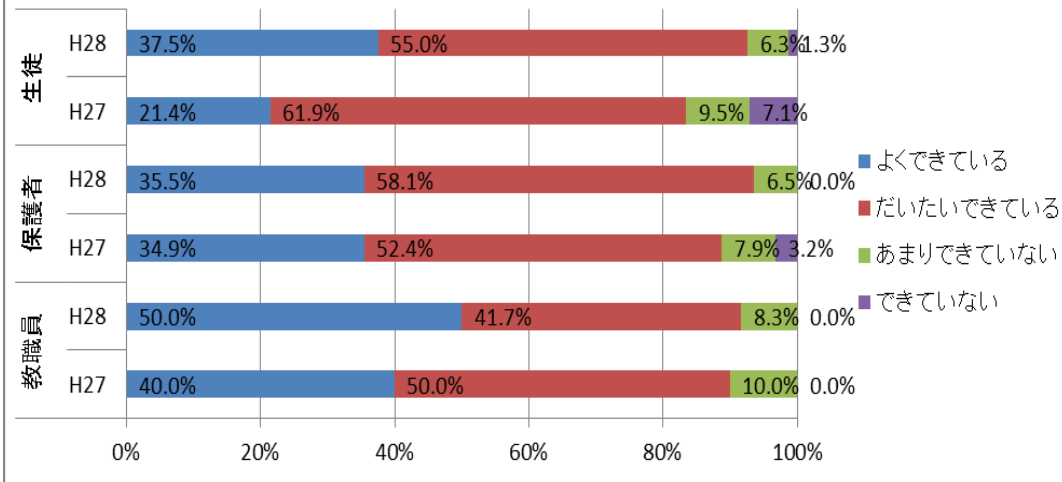


(3) 調査項目

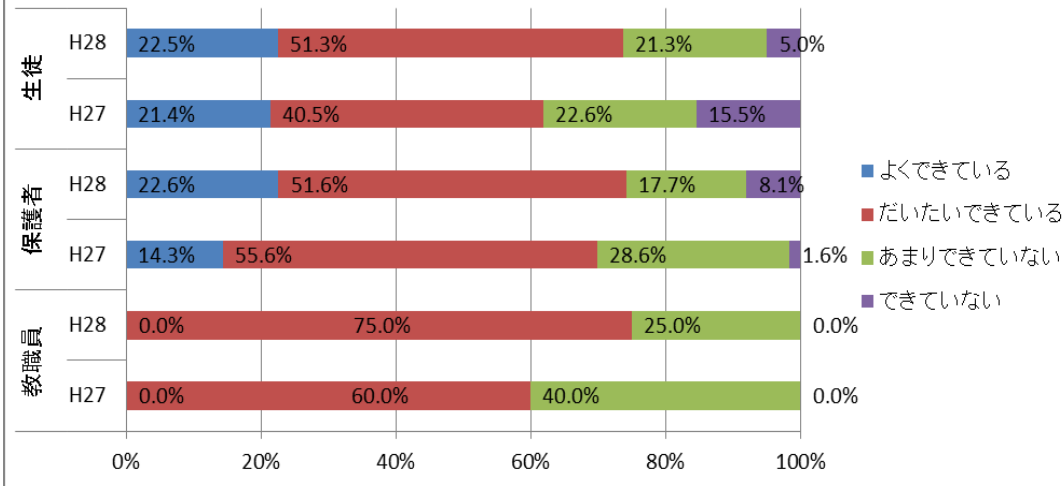
調査項目ごとに、生徒、保護者、教職員の回答を、昨年度の結果と比較してグラフにまとめたものである。



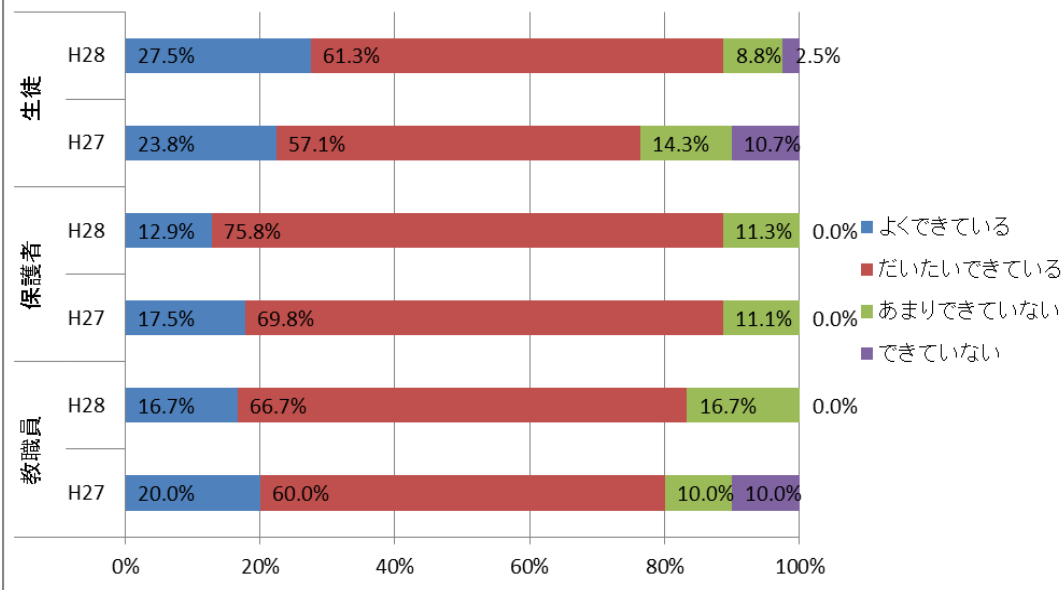
4 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている



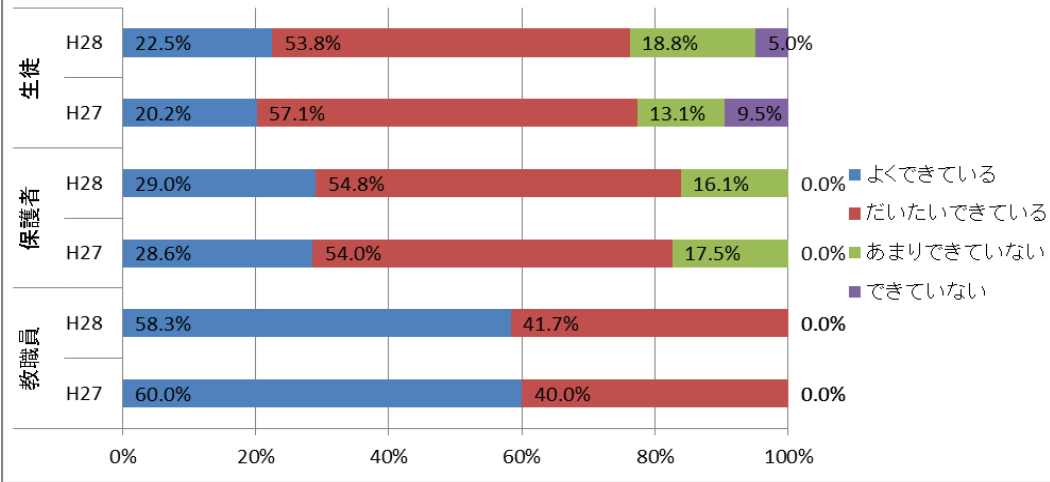
5 部活動は活発に行われている



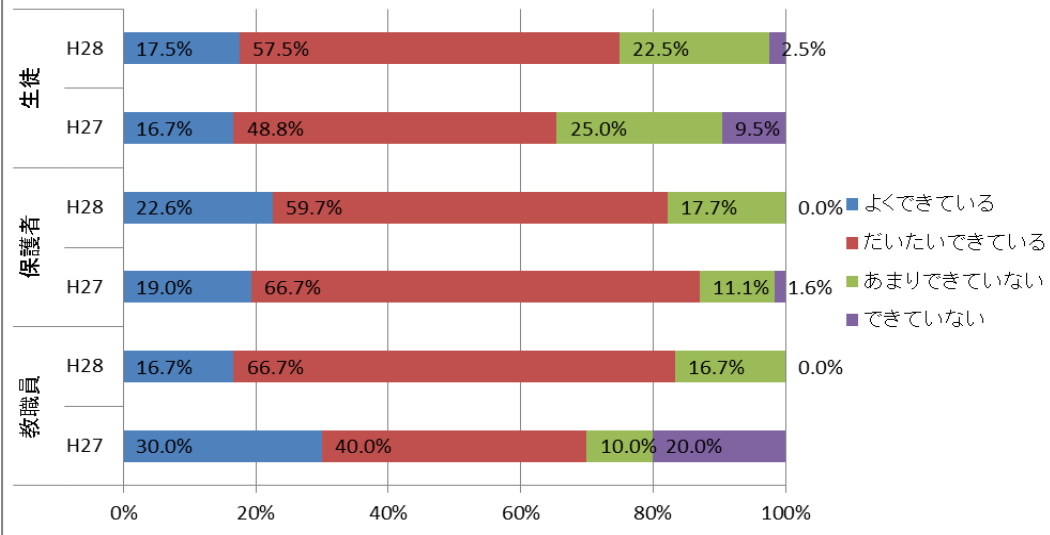
6 生徒会活動は活発に行われている



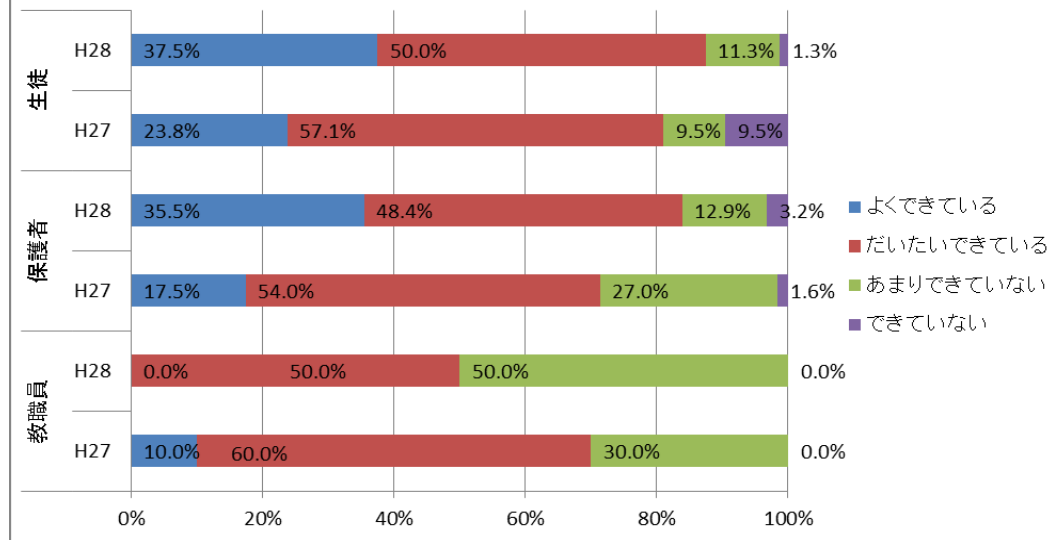
7 有意義な学校行事がある



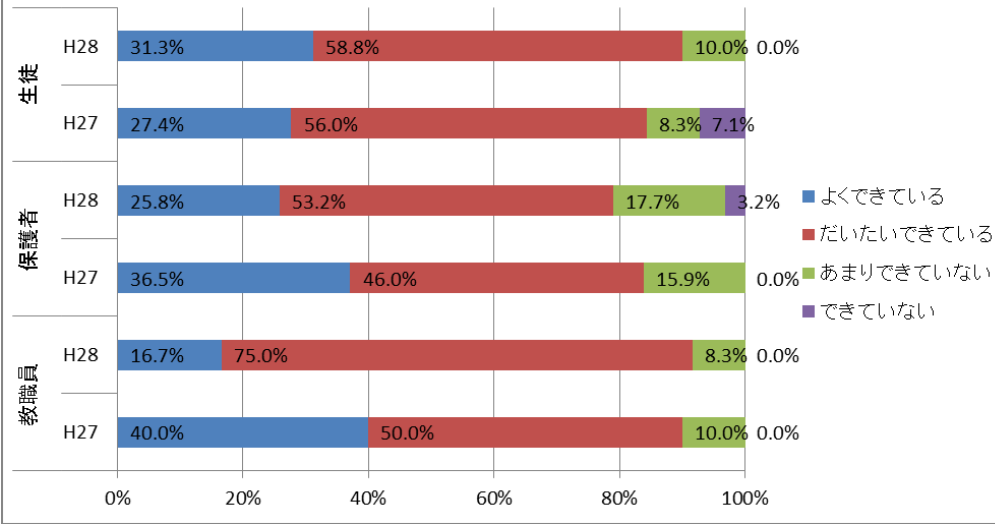
8 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる



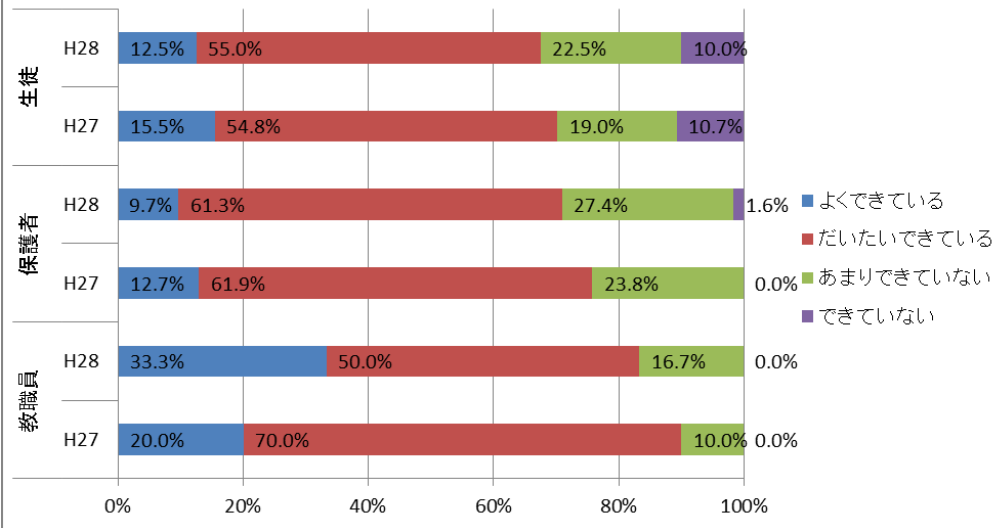
9 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている



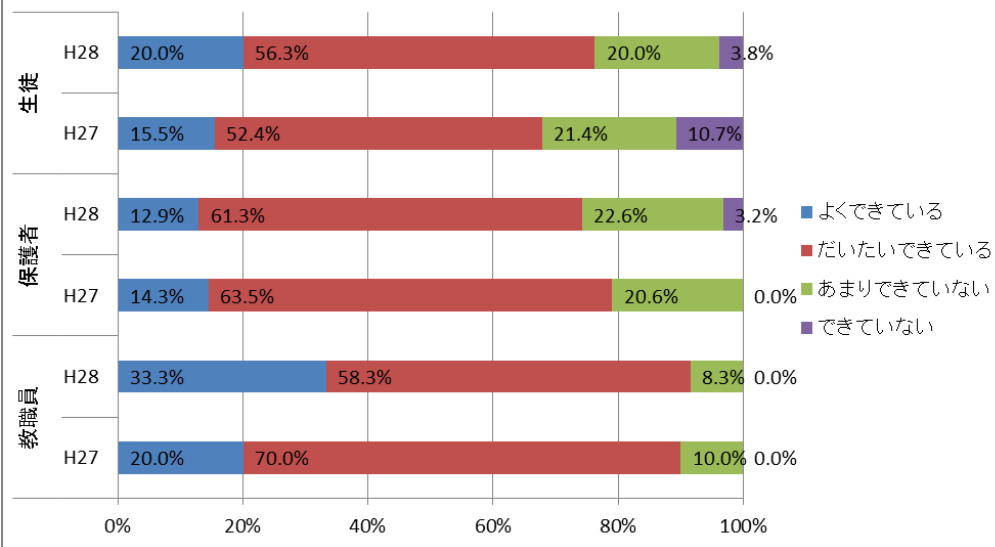
10 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている

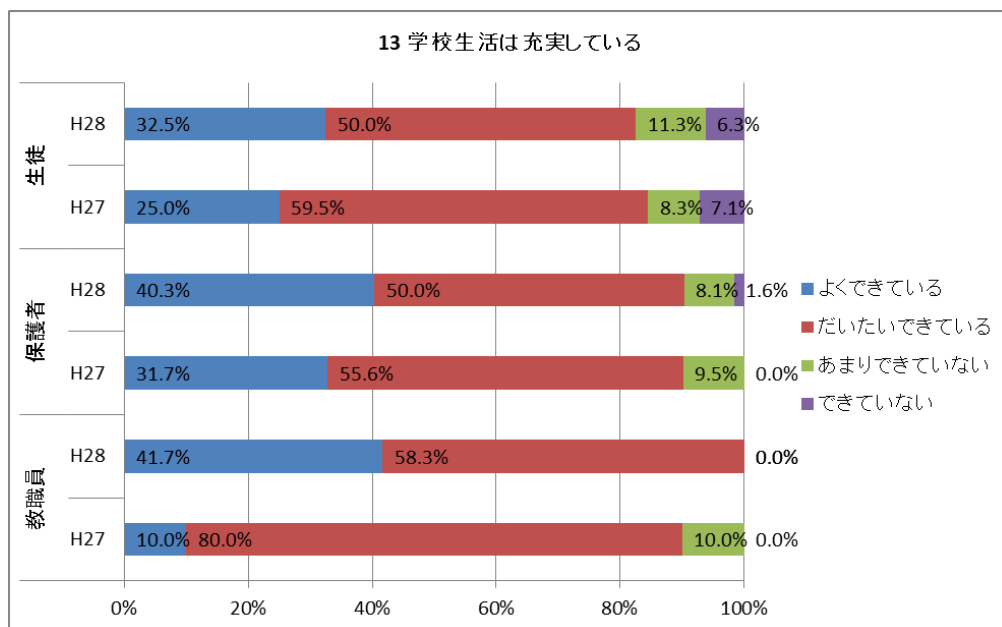


11 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている



12 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる





5. 結果の概要および考察

(1) 全体

○全ての項目の合計として肯定的な回答の割合が生徒,保護者,教職員ともに80%前後と高く,全体的に肯定的な評価を得ることができたと言える。

○生徒,保護者,教職員ともに前年比で総合的にポイントを上げており,基礎基本の習得の徹底や学校外学修の充実,安心できる学校作りをはじめとした様々な取り組みが評価につながっていると考える。

(2) 項目

○質問項目(1)「生徒にとって学ぶ意欲を引き出し,学力を身につけられるような授業が行われている」について,生徒,保護者,教職員ともに80%以上の肯定的な評価を得ている。研究授業などで教職員一丸となって授業改善に取り組んでいることがこのような評価にもつながっていると考える。

○質問項目(2)「挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている」および質問項目(6)「生徒会活動は活発に行われている」について,生徒,保護者,教職員ともに前年比でポイントを上げている。規律に関するきめ細かな指導や生徒が指示される前に自分達で活発に動くための仕掛けを作ったことが評価されていると考える。

○質問項目(4)「生徒にとって,教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている」について,生徒,保護者,教職員ともに肯定的評価割合が高く,前年比でもポイントが上がっている。本校での教育相談の手厚さが高く評価され,保護者にもしっかりその様子が伝わっていることがうかがえる。

○質問項目(5)「学校として,部活動は活発に行われている」について,生徒および教職員において昨年度と比較すると約10ポイント上がっている。男子バレーボール部が初の全国大会に出場しその過程で一生懸命に取り組んだこと,文芸部の活動において東北文化学園大学高校生スピーチコンテストにおいて最優秀賞を受賞したこと,フラガールズ甲子園への出場などが大きく評価されていると考える。

○質問項目(8)「特色ある学校作り」について,生徒および教職員において昨年度と比較すると約10ポイント上がっている。三修制や校外学修の取り組みなど新しい試みが評価されていると考える。

○質問項目(9)「災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている」について,生徒からは90%近くの肯定的な評価がある一方,特に教職員からの評価は低い。生徒に周知されていることを教職員にも周知する必要がある。